

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年3月16日～2017年3月22日)

平成 29 年(2017 年)3 月 24 日

H E A D L I N E S

<p><b>政治</b></p> <p>ドゥダ大統領の集会規制法案への署名                  2012年の移民政策文書を無効                  ポーランド・米空軍共同訓練                  統合作戦司令官、アフガニスタンを訪問                  統合全般司令部、ドラゴン17演習の準備会議を開催                  エストニアにNATO大隊の先遣隊到着                  ロシア・バルト艦隊、カリニングラード近郊で訓練                  ロシアのクリミア併合 3 周年に際するポーランド外務省の声明発表                  NATO事務総長、東欧へのNATO大隊の展開に関する発言                  ベラルーシ国防大臣、ザパド17演習の内容を公表                  ヴァシチコフスキ外相の訪米                  チェルニツキ多目的補給艦、ウクライナ・オデッサ港を出港                  マチュレヴィチ国防大臣が、ドゥダ大統領の照会書簡に回答                  ボスニア・ヘルツェゴビナ派遣隊、部隊交代                  ドゥダ大統領の新独大統領就任への祝辞                  「ローマ宣言」に関する政府報道官の発表                  ドゥダ大統領のロンドンにおけるテロ事件への追悼メッセージ                  国防次官、欧州米軍戦略部長と合同委員会に出席</p>	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留留」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！                  問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p><b>経済</b></p> <p>中央空港の建設計画                  2月の平均賃金                  世界銀行のポーランド報告書の発表                  定年者の定職に関する社会保険庁の分析                  ポーランド産リンゴのロシアへの輸入                  日曜日の商取引制限法案への政府方針決定                  欧州委員会のガスプロムへの対応に関するポーランド政府の反応                  バルト海パイプラインの建設に向け                  大気汚染の改善に向けたカトヴィツエ市の取組                  新たな地熱発電所建設に向けた調査</p>	
<p><b>大使館からのお知らせ</b></p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意                  パスポートダウンロード申請書のご案内                  大使館広報文化センター開館時間                  文化行事・大使館関連行事</p>	
<p>ポーランド日本国大使館                  ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000<a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm">http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</a></p>	

政	治
内	政

ドゥダ大統領の集会規制法案への署名【18日】

18日、ドゥダ大統領は、集会規制法案に署名した。同法案は、16日、憲法法廷が、ドゥダ大統領の要請を受け合憲審査を実施し、審査では11人のうち4人が意義を唱えたものの合憲であると判決を下した。ドゥダ大統領は、憲法法廷の同判決について、同法案の合憲性に関する疑問は残るが、憲法法廷の判決を尊重し署名したと発表した。法律上、大統領が憲法法廷が合憲と定めた法案に対して署名を拒否することは認められていない。

2012年の移民政策文書を無効【20日】

20日、内務・行政省は、ポーランド政府が2012年に作成された移民に関する政策文書を無効にした旨を発表した。ブワシュチャク内務・行政大臣は、同日に開催された政府及び関連機関の移民担当会議に出席し、同政策文書がEU移民危機及びウクライナからの移民流入といった現在の課題に対応していなかったことを指摘し、国民の安全及び雇用を考慮した新しい移民政策が必要である旨述べた。

外交・安全保障
---------

ポーランド・米空軍共同訓練【6～28日】

6～28日、ポーランド・米空軍共同訓練は、C-130輸送機及びMiG-29戦闘機が参加し、ポーランド中部ウッチ近郊のポヴィジェ空軍基地周辺で行われ、編隊飛行訓練、暗視装置装着の夜間飛行訓練等を行った。

統合作戦司令官、アフガニスタンを訪問【16日】

16日、統合作戦司令官ボイチェホフスキ少将は、アフガニスタンを訪問し、バグラム、カブール、カンダハル、ガンベリ等の基地を視察し、第5次隊の現況を確認した。

統合全般司令部、ドラゴン17演習の準備会議を開催【16日】

16日、統合全般司令部は、17年で最大規模の演習であるドラゴン17演習の準備会議を開催した。同演習は、ポーランド、米国、英国、ドイツ、ルーマニア、ラトビア、リトアニア、スロバキア、ウクライナ、ジョージアから合計1.2万人が参加する予定で、ポーランドは第12機械化師団が基幹部隊となる。同演習の目標は、司令部の機能と戦術訓練との融合及び領域防衛部隊との連携である。

エストニアにNATO大隊の先遣隊到着【17日】

17日、NATO大隊として英国から先遣された約130名が、エストニアに到着した。派遣総数は、全部で約1,200名の予定で、基幹部隊の英国から800人とフランス、デンマークで構成される。

ロシア・バルト艦隊、カリーニングラード近郊で訓練【17日】

17日、ロシア・バルト艦隊は、カリーニングラード近郊で、S-400防空ミサイルの展開訓練及び同ミサイルの防護訓練を行ったと発表した。

ロシアのクリミア併合3周年に際するポーランド外務省の声明発表【19日】

19日、ポーランド外務省は、ロシアによるクリミア半島の併合の3周年際し、ロシア政府にクリミア半島の占領を停止するように国際社会と共に呼び掛ける旨の声明を発表した。

NATO事務総長、東欧へのNATO大隊の展開に関する発言【19日】

19日、ストルテンベルグ・NATO事務総長は、東欧諸国へのNATO大隊戦闘群の展開はロシアやテロに対応するためであるが、大隊戦闘群だけでなく、ポーランドやバルト諸国の防衛を行うものではなく、NATOの集団安全保障に基づくより大きな支援の一部であると述べた。

ベラルーシ国防大臣、ザパド17演習の内容を公表【20日】

20日、ラウコフ・ベラルーシ国防大臣は、ザパド演習は17年9月14日から20日まで、北極海のコル半島からベラルーシまでの広範囲で行われ、ベラルーシ国内の7つの演習場を使用し、陸軍の他、空軍も参加予定で、ロシア軍の3千人を含む1.3万人が参加し、共同作戦、領域防衛、国境警備強化等の訓練を行う旨公表した。

ヴァシチコフスキ外相の訪米【20-22日】

20-22日、ヴァシチコフスキ外相は、米国を訪問し、ニューヨークにてフェルトマン国連事務次長と国連安全保障理事会の優先課題についての意見交換等を行った他、ワシントンにて開催されたIS掃討有志連合68カ国の閣僚会合に出席した。

チェルニツキ多目的補給艦、ウクライナ・オデッサ港

を出港【21日】

21日、NATOの常設対機雷戦グループとともに活動中のチェルニツキ多目的補給艦は、4日間の掃海訓練を終了し、同グループと共にウクライナ・オデッサ港を出港した。今後、黒海及び地中海にて7月まで活動を継続する予定である。

マチェレヴィチ国防大臣が、ドゥダ大統領の照会書簡に回答【21日】

21日、マチェレヴィチ国防大臣は、ドゥダ大統領のNATO北東師団司令部(MND-NE)の準備状況に関する照会書簡に対し、2018年末までに同司令部要員280名を参集し、通信ネットワーク、建物等の施設の整備等を行う準備は、現在、予定より遅延しているが、着実に進捗しており、多国籍補職75名の内、米国からの10名、チェコからの6名等32名は確保でき、また、同司令部は既に欧州連合軍最高司令部により承認されている旨回答した。

ボスニア・ヘルツェゴビナ派遣隊、部隊交代【21日】

21日、統合作戦司令部は、EU任務のボスニア・ヘルツェゴビナ派遣隊の交代式がサラエボで行われ、ダリウシュ・フリニア中佐の指揮する第13次隊に部隊交代した旨発表した。

ドゥダ大統領の新独大統領就任への祝辞【22日】

22日、ドゥダ大統領は、シュタインマイヤー新独大統領に対し隣国としての友好、パートナーシップ及び信頼に基いた二国間の緊密な協力が更に強化され

ることを期待する旨の祝辞を送った。

「ローマ宣言」に関する政府報道官の発表【22日】

22日、ポヘネク政府報道官は、ドゥダ大統領とシドゥウオ首相が、25日のEUローマ首脳会合に関連して意見交換を行い、EUの将来の方向性に関してはV4の宣言に含まれたとおり官僚制度の単純化、民主主義の強化、各加盟国の議会の役割強化であり、EU条約については、条約が変更されるかどうかは将来話し合いを通じて決まることであり、条約を変更しなくてもEU改革が可能かもしれない等が協議された旨発表した。

ドゥダ大統領のロンドンにおけるテロ事件への追悼メッセージ【22日】

22日、ドゥダ大統領は、同日、ロンドンの国会議事堂付近で発生したテロに関連して、ロンドンのテロ事件の犠牲者の遺族に心から哀悼の意を表するというメッセージを英語でツイッター投稿した。

国防次官、欧州米軍戦略部長と合同委員会に出席【22日】

2日、シャトコフスキ国防次官は、第7回合同委員会に出席し、同会に出席した欧州米軍戦略部長のアリヴィン少将とともに、ポーランドと米国との地位協定の別冊である医療支援に関する文書に共同署名した。同文書は、NATOの東方境界の脅威に対する抑止力を強化する狙いがある。

**経 済**  
経済政策

中央空港の建設計画【20日】

ゴヴィン科学・高等教育大臣は、ワルシャワとウッチの間に検討されている中央空港の建設に伴い、中央鉄道駅の建設も必要になると発言した。空港は国

際路線の主要な中継地となると見込まれ、それに伴い鉄道網の整備が必要になり、ワルシャワ近郊のモデリン空港も計画対象の一部になるべきと述べた。

マクロ経済動向・統計

2月の平均賃金【16日】

中央統計局(GUS)によれば、2月の平均賃金は4,304ズロチで、対前年同月比4.0%増。雇業者数は約6百万人で、対前年同月比で4.6%増となった。

成長を遂げたとしている。クヴィエシンスキ開発省次官は、報告書は政府の責任ある成長戦略と同じ方向性を示していると評価している。

世界銀行のポーランド報告書の発表【21日】

世界銀行は、「ポーランドの教訓と洞察」と題する報告書を発表し、ポーランドは過去15年で中所得国から高所得国へ移行し、韓国に匹敵する経済

定年者の定職に関する社会保険庁の分析【23日】

社会保険庁(ZUS)の分析によれば、2015年に定年に達した者のうち、女性は18.8%が、男性は12.9%が、引き続き働く意思を持っている。女性の年金受給資格発生年齢が男性より低いことや、寿命が延びたこと等を要因として挙げている。

ポーランド産業動向

**ポーランド産リンゴのロシアへの輸入【16日】**

2014年からロシアにより禁輸措置が執られていたポーランド産リンゴが、ベラルーシ産としてロシア市場に輸入されつつある。これは双方の暗黙の了解の元に行われており、ポーランド産リンゴの輸出は禁輸前の年間120万トンのレベルに戻りつつあるとのこと。

**日曜日の商取引制限法案への政府方針決定【21日】**

政府は、閣議において日曜日の商取引を制限する法案への方針を決定した。罰則や規制対象施設について方針を示したものの、全ての日曜日を規制対象とするか、一部に限定するかについては明らかにしていない。

## エネルギー・環境

**欧州委員会のガスパロムへの対応に関するポーランド政府の反応【17日】**

ナイムスキ・エネルギーインフラ担当政府特命全権は、ポーランドのガス調達多様化の必要性を述べた。この中で、同全権は欧州委員会が露ガスパロムのEU規制違反について再輸出規制の撤廃や中東欧各国に市場価格での供給を求める対応案を提示していることに関し、対応を検討中であり、数週間を要すると述べた。欧州委員会は、中東欧の各国政府並びにガス事業者に対し5月初旬を締め切りとする意見照会をしている。ポーランド・ガス石油開発社(PGNIg)は、同締め切りを待たず意見を提出すると述べている。

**バルト海パイプラインの建設に向け【17日】**

現在協議の進んでいるノルウェーのガス井とポーランドを連結するパイプラインの建設計画に関し、ナイムスキ政府特命全権は、ポーランド事業者と経由地であるデンマークの事業者との協議が最終段階にあると述べた。また、市場での需要調査となるOpen Season方式の立ち上げが3月末までの見通しも示した。さらに、国内でパイプラインの建設

に対する反対は聞いていないとも述べ、同計画が支持を得ていると強調した。

**大気汚染の改善に向けたカトヴィツエ市の取組【21日】**

カトヴィツエ市は大気汚染の改善に向け、今後10年間、年間1000億ズロチ(235万ユーロ)を投じると発表した。暖房器具の交換や建物の地域暖房システムへの接続の増加などを行うとしており、始めに国営電力会社タウロンと協力し、公共施設における暖房設備の入替えを行うとしている。

**新たな地熱発電所建設に向けた調査【22日】**

国家環境水利保護基金(NFOSiGW)は、国内で新たな地熱発電所建設に向けた調査のため、2億ズロチを拠出する。同基金は、環境に影響を与えない再生可能エネルギー資源に投資すべきとしている。新たな発電所は、1990年代末に南部のザコパネで運転を開始した設備をベースとし、計6基程度を建設することを計画しており、Sieradz, Kolo, Konin 及び Sochaczew が候補とされている。

## 大使館からのお知らせ

**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

**パスポートダウンロード申請書のご案内**

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、

ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

### **【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間**

月曜日9:00-19:00 火曜～金曜日9:00-17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日（火）～5月3日（火）】**

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示されています。

開催場所：クラクフ国立博物館，Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

### **【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日（土）～5月7日（日）】**

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィツチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館，Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

### **【予定】ザブジェ市 U17 国際ユースカップ【3月25日（土）～26日（日）】**

ザブジェにて、サッカー選手権大会「U17 International Youth Cup」が開催されます。広島県の高校選抜選手によるチームが参加し、ポーランドや周辺諸国のチームと対戦します。

日程：

3月25日（土）12:30～13:45 広島 - MFK Karvina / 17:00～18:15 Gwarek - 広島

3月26日（日）12:30～13:45 Gornik - 広島

開催場所：ザブジェ（シロンスク県），Walka Zabrze スタジアム，ul. Jaskółcza 40

詳細：<https://www.gornikzabrze.pl>

### **【予定】第7回国際新極真空手選手権大会「コビエジツェカップ」【4月1日（土）10時～】**

コビエジツェ市にて、コビエジツェ文化・スポーツセンター主催による第7回国際新極真空手選手権大会「コビエジツェカップ」が開催されます。

開催場所：コビエジツェ（ドルヌイ・シロンスク県），スポーツホール，ul. Dębowa 20

詳細：<https://www.facebook.com/Kobierzyce-Cup-1394437520853108/>

### **【予定】百射会【4月1日（土）】**

ミシャドウォ市にて、ポーランド弓道連盟主催による「百射会」が開催されます。

開催場所：ミシャドウォ市（マゾフシェ県），教育スポーツセンター，ul. Kwiatowa 28

詳細：<http://kyudo.pl>

<https://www.facebook.com/events/1912239162323117/>

### **【予定】学会「ポーランドにおける日本文化の関心拡大：武道の健康・社会・教育・哲学的側面」【4月8日（土）】**

ウッチにて、スレイ・ノ・モン基金主催による学会「ポーランドにおける日本文化の関心拡大：武道の健康・社会・教育・哲学的側面」が開催されます。日本文化・武道の社会・健康に対する影響を紹介する講演が予定されています。

開催場所：ウッチ（ウッチ県），人文経済大学，ul. Rewolucji 1905 roku nr 52

詳細:

<http://sureinomon.pl/events/ogolnopolska-konferencja-naukowa-zaszczepianie-kultury-japonskiej-polsce-lodz-8-kwietnia-2017-r/>

**【予定】第6回ドルノシロンスク数独選手権 大会【4月8日(土)】**

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ工業大学主催による『第6回ドルノシロンスク数独選手権大会』が開催されます。

開催場所: ヴロツワフ市 (ドルノシロンスキエ県), Centrum Kongresowe Politechniki Wrocławskiej, ul. Wybrzeże Wyspiańskiego 27

詳細: <http://wmat.pwr.edu.pl/3053433,231.dhtml>

**【予定】第2回国際柔道選手権大会「サメ柔道カップ」【4月8日(土) ~ 9日(日)】**

マルキ市にて、学生スポーツクラブ「サメ柔道」主催による第2回国際柔道選手権大会「サメ柔道カップ」が開催されます。

開催場所: マルキ市 (マゾフシエ県), ul. Duża 3

詳細: <https://www.facebook.com/events/1348591101858227/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)